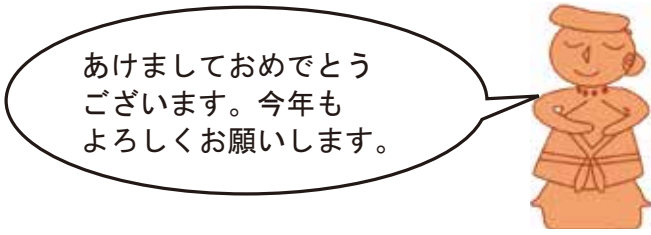


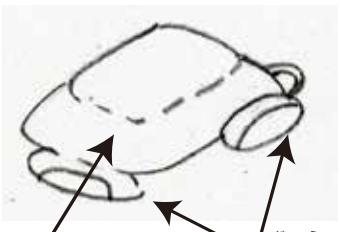
はにわ通信

No.310 令和3(2021)年1月号



先月号では、草山遺跡(久保町、第五小学校区)の弥生時代後期(約1800年前)から古墳時代初め(約1700年前)にかけての村の跡を紹介しました。

方形台状遺構

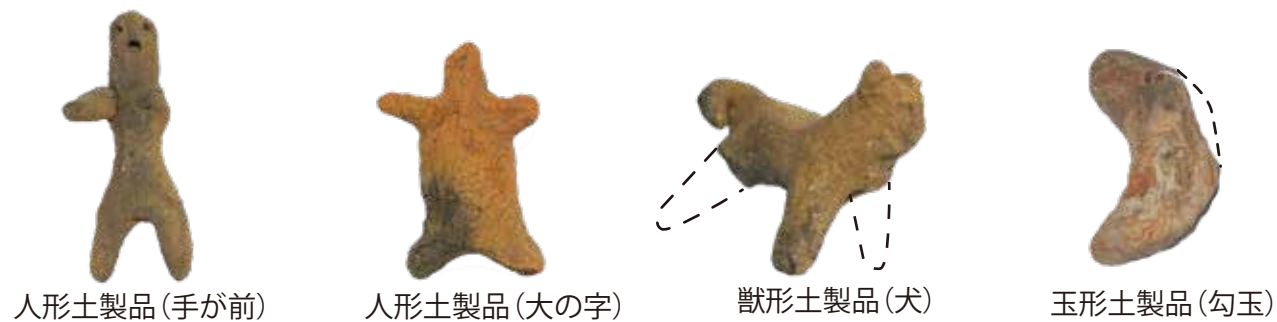


古墳時代の草山遺跡では、昔の人の活動の跡(遺構)として竪穴住居、方形台状遺構1基などがみつかっています。方形台状遺構とは、左図のように四角形に土を盛り上げた壇のようなものです。この盛土の中から土製模造品が数多く出土しました。今月号では、草山遺跡から見つかった土製模造品を説明します。

【土製模造品】

土製模造品(以下、土製品)とは、粘土で人や獣、器などに小さく似せて造ったものです。草山遺跡では出土した54個の大半が、人や獣の形をしていました。他にも、鏡、勾玉、丸玉などの土製品もみつかっています。

人形は、大きなものでも10cmほどで、どれも粘土の塊から立体的に頭や手足が造られています。手が前についているものや「大」の字形などがみつかっています。獣形は、何の動物か不明なものが多い中、犬を表現したと思われるものがありました。



これらの土製品は、バラバラな向きで見つかったため土を盛っていく中で順番に投げ込まれた、あるいは投げ捨てられたのではないかと考えられています。土製品を捨てること自体に意味を持つ儀式が行われていたのかもしれませんが。

古墳時代の遺物と聞くと、松阪市では宝塚古墳から出土した埴輪が印象的ですが、これらの小さな土製品もまた、人々の願いをのせた大切なマツリの道具でした。(担当)

【1月 睦月】

新年 あけましておめでとうございます。

旧年中は、多くの皆様にご来館・ご利用をいただきありがとうございました。

2020年は、予期せぬ新型コロナウイルスの流行で、皆様におかれては展覧会の延期や中止をされたり、来館を見合わせられたりと予定通りにいかない我慢の年であったと思います。

文化財センターも一時臨時休館となったり、人数制限や予約制で行事を実施したりと、感染拡大防止に努めながら運営してきた一年でした。

新しい年は、感染拡大が収まり、新しい生活様式を取り入れながらも、皆様の活動が計画的に再開できますよう祈っております。

今年の干支は「丑」です。牛は昔から農耕を助けたり、荷物を運んだり人の生活に欠かせない動物です。文化財センターも牛のように一步一步着実に、活動の充実と発展に努力していきます。そして、はにわ館・ギャラリーともに、市民の皆様親しんでいただき、松阪の文化財を中心に古今の文化の発信を行っていきたいと思いますので、本年もどうぞよろしくお願いいたします。

今年始めの企画展は、「こんなのが出ました!in松阪'07～」を2月6日(土)から開催します。近年、松阪市で出土した遺物を展示し遺跡の紹介をします。市内の遺跡からどんなものが出ているのか、楽しみにお待ちください。

※牛に会える神社・寺院に行ってみました。みなさんの近くにもありますか。(所長)



加世智神社(大平尾町)



菅相寺(愛宕町)



大日寺(上川町)

文化財センター はにわ館 & ギャラリーの催し物予定

1月の休館日は、1/1(金)～1/4(月)、12日(火)、18日(月)、25日(月)
2月の休館日は、1日(月)、8日(月)、15日(月)、22日(月)、24日(水)です。
開館時間は9:00～17:00です。

【はにわ館】入館料110円(18歳以下無料)*入館は16:30まで

第1展示室 ■常設展「宝塚古墳の謎」

【ギャラリー】入場無料

第1G ■嬉野文化協会 陶嬉の会展 1/24(日)～1/31(日)9:30～16:30 ※最終日は15:00まで
第2G ■嬉野文化協会 芳墨会展 1/24(日)～1/31(日)9:30～16:30 ※最終日は15:00まで



文化財センター情報は
こちら